

令和 4 年度第 3 回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和 4 年 9 月 1 日（木曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分

開催場所 立川市女性総合センター（アイム）5 階第 2 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
柴 香里 委員 菅山 明美 委員 梅田 茂之 委員
竹内 英子 委員 難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員
岩元 喜代子委員 杉浦 早苗 委員
[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 幸学習館係長 柳 直昌
同 管理係長 新藤 博
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 報告事項
 - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
 4. 協議事項
 - (1) 令和 4 年度第 2 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 3 年度取組状況の進捗評価について
 - (3) 令和 4 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 2 ブロック研修会について（幹事市）
 5. その他
 - (1) 立川文化芸術活動臨時支援金について
- 配付資料
1. 令和 4 年度第 2 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
 2. 評価部会による進捗評価スケジュールについて
 3. 令和 4 年度東京都市町村社会教育委委員連絡協議会第 2 ブロック研修会開催要項
 4. 令和 4 年度第 1 回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要（案）

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

(1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

(会 長) A委員より説明をお願いします。

(A委員) お手元の資料番号なしのものですけれども、令和4年度第1回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要(案)をご覧ください。時間もあまりありませんので簡単に説明させていただきます。6月21日行われました今年度初めての会議ですが、企画運営委員会は3カ月に一度開催されております。中段のところに項番が1、2、3とありますが、今年度初めての会議でしたので、人事異動についてご挨拶があったり、委員さんに一部交代がございましたので、委嘱状の交付が行われました。次に6番報告事項ということで各委員さんから報告を行い情報共有を行いました。続いて3ページの下段に事務局からの報告ということで、地域学習館運営協議会の内容を事務局からご報告いただいて、その動きを把握して連動できればと思っております。4ページの中段で生涯学習推進審議会の会議録ということで、こちらの会議録を配布して内容を説明しております。5ページの下段の議事ですが、令和3年度たちかわ市民交流大学事業方針まとめ(案)についてとなっておりますが、実際には市民交流大学の計画がありまして、令和3年度の進捗状況を確認しているものとなります。令和3年度の実行状況はこうでした、成果や課題はこうでしたということを事務局が作っていただいたたたき台を議論している最中でございます。今月の企画運営委員会で内容を確定し、確定したものを生涯学習推進審議会でご報告をさせていただきます。報告は以上です。

(会 長) ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。(なし) それでは、お時間あるときにお読みいただければと思います。

4. 協議事項

(1) 令和4年度第2回立川市生涯学習推進審議会 会議録(案)について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料1です。事前に確認をお願いしておりますが、修正意見はございませんでした。この会議が終わるまでにご意見がなければご承認いただけたということで速やかにホームページに公開させていただきます。

(会 長) ありがとうございます。お気づきの点や修正点はございますか。(なし)

(2) 立川市第6次生涯学習推進計画 令和3年度実行状況の進捗評価について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料2】をご覧ください。前回の会議で、進捗評価の方法を大きく変えることをご提案させていただきました。その内容としては、進捗評価のための部会を立ち上げて、13名の委員さんの中から3名、評価委員を担っていただくというものでした。この部会は全7回の生涯審とは別に3回程度、作成・調整の機会を設ける予定でいます。その方々には報酬についてもお支払いする予定となっております。詳細については評価委員と調整しながら進めていくこととなりますが、原案を部会で作成していただいて、それを生涯審の場でもご提示してご意見をいただきながら完成させていく予定となっております。

お配りした資料は前回の会議で評価委員になられていない方からのご意見も反映できるようにというお話もありましたので、フェーズごとに皆さんに見ていただくようなスケジュールに修正しております。評価委員のご負担が大きい
ため、手をあげづらい状況かもしれませんが、自薦・他薦は問いませんので、
ご選出いただければと思います。よろしくお願いします。

(会 長) ありがとうございます。今年度から評価の仕方を変えるということで3名の
評価委員の方にこのようなスケジュールで担っていただくようになっております。
次回の会議までに原案を出していただくということでご負担をおかけするのです
が、本会議では計画を立て、進捗を確認し、市全体の生涯学習について確認し合
うという部分の中心を担っていただくことになります。最終案に向けては全員で
責任を持つことにはなりますが、作業部隊として取り組んでいただくことにな
ります。3名それぞれ考えてきてくださいと事務局から連絡があったと思いますが、
やってもいいという方からお伺いしたいと思います。(なし) 立候補はなしでしょ
うか。それでは、他薦はございますか。個人的には、昨年度までの評価を経験さ
れている委員さんに入っていただきたいですし、初めて取り組まれる委員さん
にも入っていただいてフレッシュなご意見をいただきたいと思っております。い
かがでしょうか。

(A委員) 前回の審議会でも申し上げましたが、どなたもやる方がいらっしゃらなければ、
私がやらせていただく覚悟でおります。

(会 長) それでは、A委員にお願いできたらと思います。先ほど新旧と言いましたが、
学習館の皆様にもどなたか入っていただけると現場の雰囲気が伝わると思います。

(副会長) 去年まで会長と副会長と事務局で調整をやっておりましたので、引き受けさせ
ていただきます。

(会 長) ありがとうございます。副会長は柴崎学習館の運営協議会の委員でもいらっし
やるので、学習館のこともよくご存知ということになります。あとお一人ですが、
いかがでしょうか。新しい委員の皆様どうでしょうか。(意見なし) 進捗評価表の
提出先はどちらになりますでしょうか。

(事務局・センター長) 教育委員会に対してご提出いただくという形になります。

(会 長) 私たちが作った評価は教育委員会でもチェックしていただけるということで、
大変ではあるのですが、意義のある作業になるかと思います。

(事務局・センター長) 時間や場所は委員の皆様のご都合でいかようにもなるかと思いま
す。どこか学習館とかでもいいですので、そこは臨機応変に対応させていただ
ければと思います。

(会 長) もしよろしければB委員やC委員は公募委員でもいらっしゃるので、違う視点
から見ていただけるといいかと思いますが、いかがでしょうか。

(B委員) 学習館への理解が少し足りていないのではないかと考えていて、自信がなくて
というところが本音です。

(会 長) 学習館の意義や書かれていることというのは、普段使っていない方やよくわか
っていない方にもわかるような内容になっているかという意味では適任かと思
います。

(B 委員) 回数とか例年はどのくらい行っていたのですか。

(事務局・管理係委員) 例年は一年間かけて、皆様からご意見を出していただいて、担当者がまとめて、それを会長・副会長で文言を調整するという流れになります。今年度は 3 人ですべての意見を出して、それを 3 人でまとめ上げていくという形になります。

(B 委員) 宿題になるイメージでしょうか。

(事務局・管理係員) 宿題にはなと思います。

(B 委員) 作文力がいるということでしょうか。

(会 長) 作文力は他のお二方もいらっしゃるのでもそんなに心配しなくても大丈夫かと思っています。

(B 委員) それでは教えていただきながらやってみたいと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(副会長) 他の委員の方も意見を出していただければと思います。3 人だけだと視野が広がらないと思うのでぜひよろしくお願いします。

(会 長) 部会委員にならなかったからと言って安心しないでご協力いただければと思います。この後の段取りについては、事務局からお願いします。

(事務局・管理係長) スケジュールが厳しくなっておりますので、3 名の方と日程調整をさせていただければと思います。お時間があれば会議後に調整させていただいて、お時間がなければメール等で調整させていただければと思います。

(会 長) その集まりがいつになるかにもよりますが、大体 2 週間程度で皆さんもご意見を出してくださいということになっています。ここには任意となっておりますが、できるだけ出してくださいということです。

(C 委員) 評価項目 16 項目に対する意見出しとなっておりますが、全項目に対してでしょうか。15 日までに全意見を粗々出すということでしょうか。

(会 長) そうですね。

(副会長) 任意提出となっているので、特定のところだけでもいいということですよ。

(会 長) そうですね。

(D 委員) 全部やってもいいし、そうでなくてもいいということですね。

(会 長) 興味のあるところだけでもいいですし、自分の関心のあるところや得意なところだけでもいいということです。評価委員の皆様は全部やっていたかかないといけなと思います。

(A 委員) 昨年度の評価表をまだいただいていたかと思っております。

(事務局・管理係員) 前回の会議でお配りしたかと思っています。

(E 委員) 電子データはいただいていますか。

(事務局・管理係員) 電子データはまだお渡ししていません。評価に必要な物をご依頼するときにまとめてメールでお送りする予定です。

(E 委員) スケジュール表からすると明日いただけるのですか。

(事務局・管理係員) 明日お送りします。

(A 委員) 資料ありました。

(会 長) では、これを改めてデータでもいただけるということですね。

(事務局・管理係員) 明日お送りさせていただきます。

(会 長) 他に何かご質問ございますでしょうか。(なし) 評価委員の 3 名にはご尽力いただくことになるかと思っておりますのでよろしくお願いします。

(3) 令和 4 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 2 ブロック研修会について (幹事市)

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 【資料 3】になります。この資料は出欠確認のときと当日の配布資料として使用予定です。会場については立川市役所の 101 会議室です。統一テーマは「市民のニーズを活かす・つなげる社会教育～対話からつくろう これからの「学び」～」、第 2 ブロックのテーマは「わがまちならではの学び」ということで決定しています。会場は市役所に決まっておりますが、オンラインについては、他のブロックがどうなっているかを調査しました。他のブロックすべて現地のみの開催ということでオンラインはやらないということを確認しています。コロナの関係で、都や国から制限の通知が出れば、会場変更も考えなければいけないのですが、現時点では第 2 ブロックについても現地開催のみで実施する方向で準備を進めています。14 時 10 分ごろから事例紹介という形を取っています。先日、小町前教育長にお越しいただいて打ち合わせをしました。小町前教育長から学校教育と生涯学習の両面から立川市民科の概要や事例について 30 分ほどお話をいただくことになっています。(2) の東京学芸大学との連携事業はそれぞれ別の事業について話していただくことになりました。本日隣に柳係長に来ていただきましたが、「かわせみカフェ」は柳係長から発表していただきます。F 委員に最終的な確認をしないで、資料に名前を載せさせていただいてしまいました。申し訳ありません。「たかまつり」に携わっていただいて市民リーダーと地運協の立場から F 委員にお願いしたいということで名前を入れさせていただきました。東京学芸大学の学生にも来ていただいて「プレ錦まつり」について発表していただいて、合わせて 20 分程度でお話いただく予定であります。3 時 15 分から第 2 部ということで、情報共有・意見交換は参加者数にもよるが、6、7 人のグループに分かれて話し合いを行う予定です。事例発表した方には各グループのテーブルを渡り歩いて質問等に答えていただくようなイメージであります。生涯審のみなさんには当日出席をお願いしたいのですが、それぞれテーブルに分かれて話し合いが円滑に進むように話を進めてほしいと思っております。記録については各市の事務局にお願いする予定で考えております。4 時からのまとめは全グループに話を聞く時間はないので、質問や共有したい意見があれば発言してもらい、全体のまとめは倉持会長にお願いしたいということでお話をしております。倉持会長には全体のコーディネーターのような役割を担っていただく予定で、学芸大との連携事例から意見交換へのつなぎなども行っていただきたいと思います。会長とは別に総合司会が必要になるのですが、檜崎副会長にお願いしたいと会長と事務局で話をしておりました。総合司会の方は適宜倉持会長に話を振っていただくようなこ

とをイメージしております。最後に次期幹事市の昭島市から挨拶をして終了ということで、全体で 2 時間半の予定となっております。ざっと確認させていただきましたが、本日はこの構成でいいかという確認と、受付を行っていただく 2 名を決めていただきたいと思います。受付は参加者の照合、資料配布、席の案内をお願いすることになります。あと、事務的なお話になりますが、報酬という形ではお出しすることはできないのですが、交通費は支給する考えでございます。最後に当日の会場に立川市や皆さんの活動を宣伝するチラシとかを置きたいということであれば事前に事務局に連絡いただければと思います。

(会 長) ありがとうございます。概要については他市の方にご案内は差し上げているのですが、詳細についてはここで確定して他市の皆さんにお知らせしていけたらと思います。第 1 部の (2) については一つの事例で立場の違う 3 名に来ていただくか、いろいろな取り組みを少しずつ話していくかを事務局と打ち合わせる機会を設けまして、せっくなので少しずつ聞いてもらって、自分たちはどのようなことをやっているか、どのような工夫ができるかというところで、とっかかりを持っていくにはいろいろな立場の方から話していただくのがいいのかなということになりました。特に前半は小町前教育長のお話がボリュームのあるまとまったものをきくので、後半はアラカルトで聞くということでチャレンジにはなりますがいいかなと思います。柳係長からはご了解を得ているということですが、F 委員は急に名前が挙がっている感じがしますが、ご本人的にはいかがでしょうか。

(F 委員) たかまつりはものすごくいいものになりました。多くの方に来ていただいて、おまつりという名前が響いたのだなと思って、浴衣を着た女の子がたくさん来てくれましたし、楽しみにしてくれていたのがよくわかりました。学生さんも当日初めて会った学生さんもいたみたいですが、キビキビ動いてくれて、楽しい思いをさせていただきました。

(会 長) お引き受けいただけるということでよろしいでしょうか。

(F 委員) はい。

(会 長) 地運協の委員も兼ねていらっしゃるというのがありますが、市民リーダーの会という立川市の特色だと思うのですが、人材バンクや市民講師とかはいろいろな市にあるのですが、活用が行政主導のところが多いイメージで、立川市では「会」という組織を作って自分たちで活動の場を作って学び合っているというのが今回よくわかりました。かわせみカフェやプレ錦まつりみたいに年月が経って積み重ねてきたものとは違って、今年初めての取組だったので、いろいろな立場というところと合わせて F 委員にお話しいただくのがいいのではないかと思います。発表の時間は 3 人で 20 分なのでそこまで長くお話はできないのですが、その後グループを回るときにいろいろと質問が出るかと思います。お引き受けいただいてありがとうございます。三人目の「学生〇〇」になっているのですが、プレ錦まつりはすべてオンラインで行ったのですが、実施したのが 2 年生でそれをコーディネートしたのが 3 年生、今回声をかけたのは 3 年生になります。都合がつかなければ今年実施している学生に声をかけようかと思います。1 人か 2 人くらい来てもらおうと思っています。順番もこれでいいと思いますがよろしいでしょうか。(異

議なし) 総合司会は檜崎副会長にお願いしてよろしいでしょうか。

(副会長) はい。

(会 長) よろしく申し上げます。第2部の情報共有・意見交換のところで事務局からも説明ありましたが、生涯審の委員さんにはグループに入っていて進行役とか話の整理役とかファシリテーターのような役割をお願いできればと思います。沈黙が続いてしまうともったいないので、「立川市ではこうですが、他市ではどうですか」みたいな水を向ける役を担っていただいて、話始めてしまえば、いろいろご意見が出始めると思います。

(C委員) 第2ブロックというのはどこの市があって、何人くらい出席されるものなのでしょうか。

(事務局・管理係員) 例年、40人くらいから多いブロックで60人くらいなので、その間ではないかと思います。

(会 長) 構成市は昭島市、国分寺市、東大和市、武蔵村山市、国立市ですかね。去年は対面でやったのですが、話し合いはなしで話を聞くという内容でした。今年は感染状況にもよりますが、20～30人は集まりますかね。

(事務局・管理係員) 去年の武蔵村山市で講演のみの内容で30半ばでしたので、状況が改善されていれば40台にはいくのではないかと予測しております。

(会 長) 今の想定だとグループは何人くらいに分かれる予定ですか。

(事務局・管理係員) 多くても6,7人がいいかと思います。

(C委員) 各市から一人ずつくらい分かれるような感じでしょうか。

(事務局・管理係員) 参加の多い市とそうではない市とあるのですが、分かれていただく予定です。

(C委員) いつ頃わかるのでしょうか。

(事務局・管理係員) ここである程度ご承認いただいて、近日中に出欠確認の依頼は出す予定ですので、10月上旬には確定できるかと思います。

(会 長) 委員の皆様のご出席は確認した方がいいですよ。

(事務局・管理係員) この段階で欠席が決まっている方がいれば教えていただきたいです。

(会 長) 10月29日の14時から16時半が会議の時間なのですが、準備等があれば少し前に来ていただくことになるかもしれないのですが、ご予約が重なっていて出席が難しいという方はいらっしゃいますか。

(G委員) すごく大切な会議だとは思いますが、申し訳ありませんが参加できそうにありません。

(A委員) 午前中に予定がありますので13時半頃到着になるかと思います。

(E委員) 翌日に町民運動会があって、準備で後半は抜けてしまうかもしれません。

(会 長) 16時までは大丈夫そうですか。

(E委員) 体育館にテントを運び入れたりする作業があるので難しいかもしれません。

(会 長) ありがとうございます。他の委員はよろしいでしょうか。後日、岡部委員のご予定もご確認をお願いします。あと受付も決めなければいけないの、時間に余裕をもって来れる方で、今のところ役割分担で当たっていない方どうでしょうか。(H委員とC委員挙手) それでは、受付はお二人にお願いしたいと思います。事務局

には後日、内部用の細かいスケジュールについてもご提示いただければと思います。

(事務局・管理係員) 次回会議頃までにはご提示させていただきたいと思います。

(会 長) 柳係長とF委員と学生と私で「(2)」の打ち合わせをさせていただければと思います。話す項目を決めてしまって、コンパクトに無理なくできるようにできたらと思っています。次の会議の直後になるので、最終確認して研修会当日となるので、内容についての検討は本日が最後になるのですが、何かございますか。

(E委員) F委員のたかまつりの発表についてスライドを使われるかわかりませんが、アシストをさせていただければと思います。もう一点、学生さんについてなのですが、かわせみカフェとたかまつりの両方に関わっている学生さんはいらっしゃるのですか。

(会 長) いないですね。かわせみカフェは柴田先生の授業で、たかまつりとプレ錦のコーディネーターをやっているのが私の授業で、プレ錦まつりの企画を立てているのが別の授業を受けている学生になります。いろいろな学生に声をかけることは可能ですが来てもらえるかはわかりません。

(E委員) 両方やっている学生さんがいれば面白い話が聞けるかと思いました。

(会 長) 話をするのは難しいですが、当日来てもらってグループに入ってもらえることはできるかもしれません。声かけてみますか。第2部の話し合いに入ってくださいことは可能ではないかと思います。

(E委員) 入っていただけるならぜひ。

(F委員) 新しい発見があると思います。

(会 長) 学生にとってもありがたいことだと思います。参加者としてここに来てもらえるか検討したいと思います。

(E委員) 各市に話をしてもらう時に、何か資料を持ってきてくださいとか依頼を出されるご予定はあるのですか。

(会 長) 例えば、必須ではないですが取り組まれている事業とか活動とかわかる案内とか資料とかあればご持参くださいとか入れますか。

(事務局・管理係員) わかりました。ご案内の際に入れるようにします。

(会 長) 皆さんもお持ちのチラシや資料等あればお持ちいただいて、他市の方にも持って来ていただくこととします。

(事務局・センター長) 事務局の方でその場でコピーしてとかの対応をした方がいいですね。

(会 長) 配るなら何部くらいかというのは把握したいかもしれないですね。

(事務局・管理係員) 印刷できるものは事務局で、チラシであればそのままがいいかもしれないので、相手方に確認をとって、必要があればうちで対応するようにします。

(会 長) ありがとうございます。

(B委員) 質問なのですが、第2部で私たちが入ってということはわかったのですが、第3部のまとめで共有というのはどういうまとめ方になるのでしょうか。

(会 長) ねらいのところに地域ならではの資源を活用することと、さまざまな団体・機関と連携・協働するということの二つポイントがあって、そういう取り組

みがどういう仕組みや工夫で行われていくのかというところがテーマではあるかなと思っています。そのためにお互いが行っていることを話し合ったうえで、その先で重なるところの議論を後半に持っていければ、これというものがみつからなくても、そういう議論につなげられたら何か持ち帰ることができるのではないかと思います。「そっちはこういうのがあっていいね」とか条件論みたいに、大学があるとなんとかの話になってしまうのは違うので、それぞれが持っている委員会とかでそのネットワークを活かしあうとか職員さんがコーディネートしてくれたからうまくいったとか、ここがうまくいかないから進まないとか課題面でもいいと思います。事務局から橋渡しをお願いされているので始める前に提起したいとは思っています。あまり議論の方に持っていってしまうとつまらないので、情報交換した上で、探り合えるような時間を持てて、まとめのところでアイデアだったりモヤモヤだったりを解消できたらと思っています。

(G委員) 各テーブルにファシリテーターがいるということであれば、A 4 一枚で取組名・仕組み・工夫されている点など欄だけ作っておいて、ファシリテーターの方が書いて最後に会長にお渡しするのはどうでしょうか。会長の方で事例をまとめて、面白そうな事例についてお話を聞くとかすれば全体で共有できるのではないのでしょうか。

(会長) ワークシートみたいなものを作ることですね。話を聞きながら進行していくというのは大変なので、今回は記録係を予定している他市の事務局の方にそういった観点をお願いすることは可能かと思います。なので、皆さんにはファシリテートを頑張っていていただいて記録は他市の職員さんという形でいくかですね。まとめの時間もあまりないので、フォーマットや視点がわかるようなものがあつた方がいいということですね。ありがとうございます。

(H委員) ファシリテートするのにそれぞれのグループがバラバラでもいいのかもしれませんが、どういった話を引き出すのかというポイントを記した紙とかあると心強いかなと思います。

(会長) 進行のあんちょこみたいなものですね。

(H委員) 話している内容の方向性が違ってきたりしたときに修正しやすいかと思います。

(会長) それでは、進行メモのようなものも手元に準備しましょうか。

(C委員) 第3部のまとめは会長がまとめてくださるということでよろしいでしょうか。

(会長) 結論出すような話ではないのですが、いろいろ聞いてよくわからないとなっておかえりいただくのも申し訳ないので、出た部分で最後確認する時間を設けたいと思います。それでは、進行役のメモや記録用のシートについては事務局と相談して次の会議でまた、皆さんに見ていただいて最終確認をできたらと思います。そのほかよろしいでしょうか。(なし)

5. その他

(1) 立川文化芸術活動臨時支援金について

(会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料でお配りしていますが、立川文化芸術活動臨時支援金について

ということで A4 一枚お配りしています。昨年度に初めてこの事業を行いました。地域文化課の職員が来て事業の説明をさせていただいています。その事業を今年度も実施するというので、市内で文化芸術活動をしている団体に対して 3 万円を上限に交付金をお渡しするものです。この事務局とたまたまお話ししたのですが、社会教育関係団体で体操だけを活動としている団体は対象としないということで、文化芸術に限ってのものということです。幅広くなってしまうのですが、下の問い合わせのところに確認していただければと思います。

(副会長) この資料に達した時点で終了となっていますが、申込順ということでしょうか。

(事務局・管理係長) 確認させていただきます。この資料に金額や団体数が載っていないので、9 月 30 日までやっているのか判断できないです。昨年度は申込数が少なかったというのは聞いています。

(副会長) 私が活動している団体でもやろうかと思ったのですが、ここには「活動を自粛せざるを得なかった団体」と書いてあるのですが、活動している団体は遠慮した方がいいのでしょうか。

(C 委員) 私が活動している団体では昨年度も申込をして、今年も申し込む予定なのですが、何に使うかというところに消毒用アルコールとか記載して活動を現在もしている団体も大丈夫でした。

(会 長) 他に何かございますか。

(事務局・センター長) 私から 4 件、大須賀から 1 件ございます。「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」についてということで評価の経過も含めてご説明させていただきます。教育委員会自ら評価するもので教育委員会に議案として提出しているものとなります。目次を見ていただくと 19 の項目について評価をしています。I は教育委員会自体の活動を評価するものでそれが 3 つ、教育委員会は性格を 4 つ持っていて、細かく言うと 5 つですが、第 3 次学校教育振興基本計画から 9 つ、第 6 次生涯学習推進計画から 3 つ、第 3 次図書館基本計画から 3 つ、第 4 次子ども読書活動推進計画から 4 つとありまして、第 3 次学校教育振興基本計画の中には特別支援計画も入っておりますので、細かく言うと全部で 5 つということになります。これらの項目を大施策として評価していくものになります。流れでございますが、担当課が事務局案を作成して、教育委員会に提出してご意見をいただいて、それをまとめまして、外部委員さんに提出して、意見交換をして評価しています。その決定したものを議会に報告するという流れとなっております。評価の方法は S・A・B・C の 4 段階でして、その結果が 4 ページです。全部で 22 項目で外部評価委員さんはここに書いてある通りで、第 6 次生涯学習推進計画については、この前の生涯学習推進審議会の会長をされていた朝岡先生に評価をいただいています。評価の見方として左には評価表、右には指標ということで見開きでわかるようになっております。最後のところに評価がございます。ここが市の評価になります。一方 56 ページに外部評価委員さんにいただいた意見をまとめています。本日はご用意しておりませんが、立川の教育という冊子がご

ざいまして、この評価と合わせて見ていただければ有益なものになるかと思います。こういったご説明は初めてかもしれませんが、こういった情報提供も今後はしっかり行っていきたいと思いますので、ご参考にしていただければと思います。続いて、平和都市宣言 30 周年でございます。地域学習館の運営協議会や市民交流大学の方のお力をいただきまして、さまざまな講演をさせていただきました。8 月 16 日に市内の中学生 9 人を連れて、広島に平和学習で行きまして、その中学生がこの講演に参加したり感動して聞いている様子や現地で被爆した方のお話を聞いていたりしていましたが、広島のご報告は次回させていただきます。錦学習館は改修工事で実施できませんでしたが、6 箇所で開催をしてとても好評でした。副会長から補足があればお願いします。

(副会長) 柴崎学習館の運営協議会で提案して、無理な日程でお願いしていたのですが、各運営協議会で展示をしたり、司会をつけたり、体験者を紹介してもらって話をしてもらったりということで、協力がうまくいきました。市民推委員会の方でも協力してくれて、生涯学習推進センターの職員も協力していただいて協力体制がとてもうまくいったと思います。今まで展示をしていなかったのですが、展示は一定期間やるのが意味のあることだと感じました。今年展示をやるためにたくさん印刷して、それを一回限りで終わらせてしまうのはもったいないということで活かしていく道を考えたいということと、西砂の方では小学校で利用をしてもらうことになりそうで、幸ではかわせみカフェで利用を大学生がしてくれるということで、やったことが広がっていくというのは意味のあることだと思います。1 回学習館の代表者と事務局で総括というか振り返りの会議が開けるといいなと思います。

(事務局・センター長) 副会長がおっしゃった通りでして、他に学校教育につながった例なのですが、校長先生にこのような取り組みをしていますとメールしましたら、3 校から教材で取り上げたいということでチラシや二中では来週修学旅行で広島に行くということでそのお手伝いをさせていただこうということで、まさに学社一体で取り組むことができたことは大きな成果かと思います。次が倉持会長の大学で行われる講座に職員のレベルアップということで、学び合いや協働力向上のために職員を派遣させていただきます。公費で 4 人の職員を大学の講座に受講生として、社会教育を進める職員の立場として、コーディネートの仕方であるとかを学ぶこととなりましたのでそのご報告です。最後になります。来年の 1 月 17 日に大きな研修を設ける予定となっております。生涯学習の関係者を一堂に会して市の職員、運営委員会の委員さん、市民リーダーの方、生涯審の委員さん、市民交流大学の方も含めて、研修をやる予定となっております。そのテーマと講師について、倉持会長に他市の状況も含めてお話しただけないかと内部で出ておりまして、よろしければ大きな研修に講師として参加いただけないかという事務局からのご提案です。いかがでしょうか(拍手) コロナ等で中々できなかったところでございますのでご協力いただければと思います。

(会長) こういうことをしてほしいとか取り上げてほしいとかあれば伺いながら話

す内容を準備できたと思いますので、よろしくお願いします。

(C 委員) 時間は決まっているのでしょうか。

(事務局・センター長) 午後 2 時から 4 時くらいまでです。生涯学習の職員だけでなく、行政職の職員にも声をかけて、興味のある方に参加していただこうと思っております。

(会 長) ありがとうございます。今までのお話で何かご質問ございますでしょうか。

(なし) ボリュームはありましたけど情報提供いただけるのは非常にありがたいです。お持ち帰りいただいて何かございましたら事務局にご相談いただければと思います。他にありますか。

(事務局・管理係員) 前回の会議で E 委員から学習館によって Wi-Fi の速度が違うというご指摘で契約している NTT に確認いたしました。結論から言うと施設というよりは NTT 側の問題ということで、Wi-Fi の電波を飛ばすアクセスポイントのそばで計測しても数値が違うということであれば、施設の周辺で NTT のネットワーク、Wi-Fi でも有線でもいいのですが、インターネットに接続している会社であったりご家庭が多いと、そのせいで速度が下がってしまうことがあるそうです。そういう意味では密集地で NTT と契約すると本来のパフォーマンスを出せない可能性があるというお話をいただきました。その話に加えて、施設周辺にいる方が NTT のネットワークを利用するような方が多いと速度が下がってきてしまうので、計測していただいたとき、元々数値が低い可能性もありますし、たまたま低い時間帯であった可能性もあります。結論としては何とも言えないのですが、原因は周辺環境にあるということでした。そのため、数値が悪い施設が今後劇的に改善する可能性は低いのですが、こういった事情で異なった数値が出ているというご報告でした。

(E 委員) いわゆるベストエフォートというやつですね。西砂学習館や幸学習館は早いけど、周りに施設の多い高松学習館とかは遅いということですね。

(会 長) 調べてもらってわかったのは良かったですね。

(E 委員) 利用者からすると納得できる話ではないのでご検討いただければと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(事務局・センター長) 今、公共施設に設置する Wi-Fi をフリーWiFi 的に使うのか、講座のように限定して使用していただくのか、避難所に入れるのかとかいろいろ想定がありまして、避難所では避難者が契約している通信量の問題から制限がかかって情報を収集できないということが起こります。立川市としてこの需要に対してどこまで行うかの結論は出ていませんが、要望としては増えていく可能性はあります。

(E 委員) フリーWi-Fi のように自由度が高いということでオリンピックの期間にジャパンコネクテッドフリーWi-Fi みたいにアカウント情報が表示されるという行政サービスの一環として行うというのもあるかと思います。

(会 長) 今後は活用ということを考えていかないといけないので、今はやっとながったというところとやっとながってきたというところなので、周りの市と比

べるとやや後発気味なので、どう事業の中に取り入れていくか試行していかないといけないですね。

（事務局・センター長）おっしゃる通りで、コロナ禍で Wi-Fi の活用ということがポイントになっていて、Wi-Fi や発信については今までになかった評価として今年度記載されているところでございます。

（会 長）そのほか何かございますか。（なし）次回は 10 月 11 日 18 時半からアィムで行います。それでは、第 3 回生涯学習推進審議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。